

令和5年度第60回東村山市民体育大会
ジョイフル・スローピッチ
ソフトボール大会



期日：令和5年7月2日（日） 16日（日）

予備日23日（日）

会場：運動公園グラウンドA・B面

共催：東村山市、公益社団法人東村山市体育協会

主管：東村山市ソフトボール連盟

令和5年度 第60回東村山市民体育大会

ジョイフル・スローピッチソフトボール大会要項

1. 目的 ソフトボール競技を通じて、市民相互の親睦と交流を図るとともに、市民体育大会の一環として、ソフトボールのより一層の普及を図る。

2. 主催 東村山市、(公社)東村山市体育協会

3. 主管 東村山市ソフトボール連盟

4. 大会役員・競技委員・審判員 (敬称略)

| | | | | |
|-------|-------------------|------|------|------|
| 名誉会長 | 田口 弘 | | | |
| 大会会長 | 内田智啓 | | | |
| 競技委員長 | 下澤由起夫 | | | |
| 競技主任 | 金子幸子 | | | |
| 審判委員長 | 城川善行 | 副審判長 | 古川義夫 | |
| 大会会計 | 渡辺公夫 | | | |
| 事務局 | 金子幸子 | 河野栄作 | | |
| 競技委員 | 石川 慶 | 足立直己 | 飯沼昌行 | 渡部隆志 |
| | 吉原重文 | 広瀬敬司 | 稲葉昭一 | 河野栄作 |
| | 後藤和夫 | 畝本 新 | 中山政利 | 古姓鉄也 |
| | 小林久美子 | | | |
| 審判員 | 日本ソフトボール協会登録公認審判員 | | | |

5. 大会期日及び会場

7月2(日) 16(日) 運動公園グラウンドA・B面

※予備日 23(日)

※グラウンドコンディションが不良又は荒天の場合の試合中止の判断は連盟で行い、試合当日7時以降に各チーム代表へ連絡します。

6. 大会運営 新型コロナウイルス感染防止に参加者皆様のご理解とご協力をお願いします。

7. 開会式・閉会式 行いません。ただし、表彰式のみ試合終了後に行います。

8. 表彰 各種目、優勝、準優勝、第三位。ただし、メダルは各20名。

9. 参加資格

(1) 東村山市ソフトボール連盟加盟チーム又は、原則、東村山市に在住、在勤、在学する者で構成するチームとします。

(2) 参加チームは、必ずスポーツ保険に加入していること。

(3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。また、打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

(4) 種目

男子の部 (※男子チームは女子との混合編成を認めます。)

女子の部

10. 問合せ先

○問い合わせ先
〒189-0012 萩山町 1-32-43 下澤まで
携帯 090-1400-4948 Fax 042-348-8682
E-mail y.shimo.shimo@gmail.com

11. 監督・代表者会議、抽選会

監督・代表者会議は、行いません。 組合せ抽選は、当連盟役員による代理抽選とします。抽選結果は、連盟ホームページに掲載するとともに、結果を郵送でお知らせします。

代理組合せ抽選 令和4年6月16日(金) 19時半 スポセン

12. 選手登録 選手登録表は、当連盟ホームページからダウンロードできます。

当日、「選手登録表」を試合開始前に本部受付へ提出してください。

13. 参加費 6,000円 (連盟加盟の有無にかかわらず)

※銀行振込みによるお支払いをお願いします。

東京みらい農業協同組合 東村山支店
東村山市ソフトボール連盟 会長 ともあき 内田智啓
普通口座 0044491

令和5年度 第60回東村山市民体育大会

ジョイフル・スローピッチソフトボール大会競技規定

本大会は、以下の競技規定及び注意事項を遵守して、安全・安心な大会となるよう大会関係者、参加者皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

- 1 チーム編成 選手登録は、監督、主将、コーチ、スコアラーを含む25名以内とし、選手を兼ねる場合は選手登録を行ってください。
- 2 ユニホーム番号 監督30、主将10、コーチ31、32、選手は1～99番。
- 3 打順表 試合に出場する全選手を記入し、試合開始30分前に4部綴りを提出します。

4 試合方法

- (1) 試合は、7回50分制とする。得点差によるコールドゲームは採用しない。
- (2) 試合開始後、50分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
- (3) 時間制限のため7イニングできないと審判員が判断したときは、予め「次のイニングを最終回にする」と通告しておく。審判員が「次のイニングを最終回にする」と通告していなくて、先攻チームの攻撃中に50分を経過してしまったときは、そのイニングを最終回とする。ただし、そのイニングの先攻チームが得点制限ルールを適用されていて、後攻チームの攻撃中に50分を経過したときは、次のイニングを最終回とする。
- (4) 1イニングの得点が、5点に達したら攻守交代とする。なお、最終回は得点制限を行わない。ただし、ホームランの場合のみ5点を超えても得点にする。
- (5) 予選リーグにおいては、試合終了時に同点の場合は、引き分けとする。ただし、決勝トーナメントのうち決勝戦は、タイブレーカーを採用し、それ以外は抽選により勝敗を決める。
- (6) 予選での順位決定方法は、全チーム同じ2試合のため、対戦相手、イニングが異なることを配慮して、①勝率>②得失点差が少ないチーム>③得失点差が多いチーム>④抽選の順に決定する。

1

リーグ

- (7) 予選で勝ち上がった各ブロック上位~~2~~チームによる決勝~~トーナメント~~を行う。
- 5 競技規則 日本ジョイフルソフトボール連盟制定の競技規則及び日本ソフトボール協会特別ルールによる。
- 6 競技場
 - (1) 本塁から外野フェンスまでの距離は、男子58m以上69m以内、女子は50m以上61m以内とする。塁間距離は男女とも18.29mとする。当日、ホームランゾーンを設ける予定。
 - (2) 投球距離は、男女とも12.19mとする。

(3) ホームプレートの後ろにストライクマットを設置する。

(4) 打者用のホームプレートの外に走者用の第二ホームプレート（スコアリングプレート）を設置し、三塁ベースから第二ホームプレートの中心に向かって走者用のランニングラインを引き、三塁と第二ホームプレートの中にランニングラインと直角にリターン禁止ラインを引く。

7 プレイヤー

(1) 守備のプレイヤーは、男女とも10人である。

(2) エキストラプレイヤー（EP）を採用したチームは、11人で攻撃を行う。エキストラプレイヤーは、打撃だけでなく他のプレイヤーと交代して守備につくことも出来る。

(3) DP、FPは、採用しない。

(4) スターティングプレイヤーであれば、エキストラプレイヤーも再出場できる。

(5) プレイヤーが走者になったとき、怪我等により走者として継続できなくなったときはテンポラリーランナーを使用することができる。アウトカウントに関係なく、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。

8 投 球

(1) 投手は、軸足を投手板に触れて立ち、自由足は投手板の横幅よりも内側で地面に触れていること。（前でも後ろでもよい）

(2) 投手は、身体の全面を打者に向け、球を片手または両手で持って、1秒以上5秒以内完全に停止した後に、投球動作を起こさなければならない。

(3) 投球は、打者の身長以上、身長の2倍以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。

(注) 上記(1)～(3)に違反すると、不正投球でボールデッドになり、打者にワンボールが与えられる。（走者は進塁できない）ただし、この投球を打者が空振りしたときはストライクで、打者が打ったときは不正投球が取り消され、試合は継続される。

(4) 投球が規定通りで、ホームプレートかストライクマット上に落下した場合は（少しでも触れていればよい）ストライクと判定される。

(5) 投手が、故意四球を望むときは、そのことを球審に申し出れば投球する必要はない。

(6) 投球が地面にふれるかストライクマットを通過したらボールデッドになる。

(7) 捕手は捕手席後方で構え、投球がワンバウンドした後で捕球するようにする。

(8) 準備投球は1分間を限度とし、初回または投手交替時は3球、それ以外は1球とする。

9 打 撃

(1) 打者が投球をバントまたは、チョップヒット（打球を地面にたたきつけてバウンドさせる 打法）をするとアウトになる。

(2) ツーストライク後のファールボールは、打者アウトになる。

(3) 死球は認めず、ボールとなる。

10 走 塁

(1) 投球を打者が打つか、ホームプレートに達する前、又はワンバウンドする前に走者が塁を離れると離塁アウトになる。

(2) 打者が空振りしたときの離塁は、走者をアウトにしないで元の塁に戻す。ただし、離塁アウトは優先される。

(3) 盗塁は、認められない。

(4) 走者は守備者との衝突を避けるためスライディングをしてもよい。

(5) 守備者は、走者との衝突を避けるように努め、走者のために塁の前面の半分以上を空けておかなければならない。

(6) 走者が得点しようとするときは、ランニングラインに沿って走り、第二ホームプレート（スコアリングプレート）に触れなければならない。また、走者が間違っ打者用のホームプレートに触れたり、跨いだりした場合走者は直ちにアウトになる。

(7) 走者の第二ホームプレートへの触塁より先に、守備者が打者用ホームプレート上（ストライクマットを含む）で球を確保すれば、走者はアウトになる。リターン禁止ラインを超えた走者に直接タッチ（触球）してもアウトにはならない。

(8) 走者がリターン禁止ラインを超えた後、三塁に戻ることはできない。戻れば走者は直ちにアウトになる。

11 ベ ン チ 組合せ番号の若いチームが一塁側とします。

12 用 具

(1) ボールは、(公財)日本ソフトボール協会推奨ジョイフルスローピッチソフトボール専用球を使用する。

(2) 金属製スパイクは禁止する。

(3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。

(4) 打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

13 審 判 員 審判は、日本ソフトボール協会登録公認審判員が行います。

14 装 飾 品 腕時計、ブレスレット、イヤリング、ピアス、ネックレス等身体の外に出る宝石装飾品は着用しません。

15 ボール回収 攻守にかかわらず、ベンチ側チームが回収します。

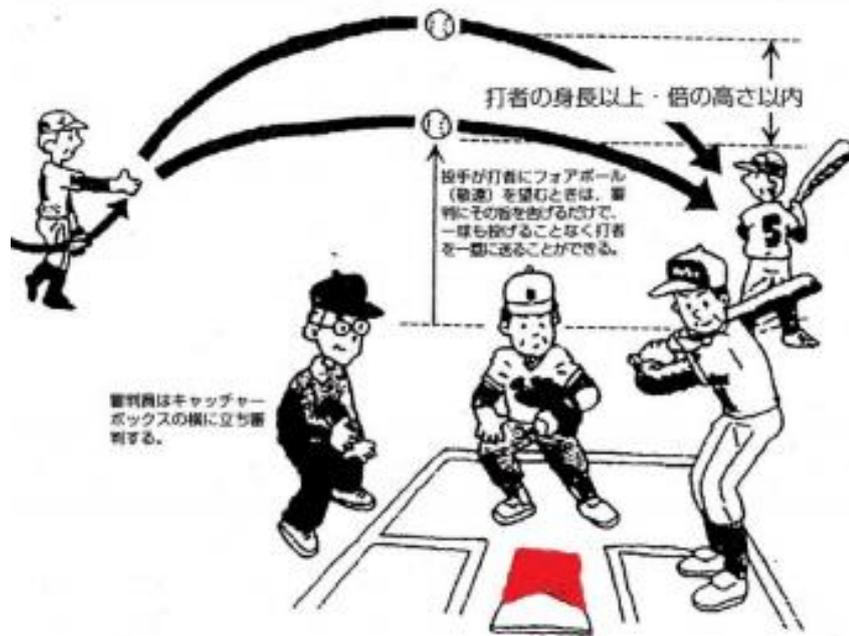
16 グラウンド整備 勝利チームが行います。ただし、最終戦は両チームで行います。

17 喫 煙 競技場内は禁煙です。

18 ごみ処理 空き缶、弁当屑等は、各チームの責任で持ち帰ってください。

19 組み合わせ 別紙のとおり

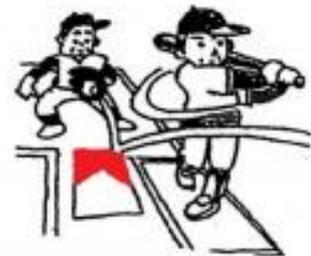
投 球



ストライク



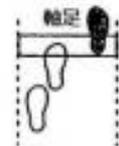
捕手は、ワンバウンド以上で捕る。



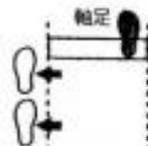
投手は、軸足を投手板に触れて立ち、他の足が投手板横幅より内側で地面に触れていればOKです。

(前方でも後方でも可)

正しいセット



不正のセット



投手は、正しいセットの状態で1秒以上5秒以内の間、片手または両手でボールを保持し静止しなければいけません。

競技場 (ファーストピッチに準ずる)

(cmは四捨五入)

